

## 福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、令和4年度福井県公共工事入札監視委員会（第2回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

### 記

- 1 日 時 令和5年1月27日（金） 10:00～12:20
- 2 場 所 県庁10階 審問廷
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

#### 4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
  - 1 入札および契約に係る制度の運用について
  - 2 抽出事案審議
  - 3 談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

#### 5 会議概要

- (2)-1 入札および契約に係る制度の運用について（令和4年4月1日～令和4年9月30日）
- ・ 契約件数、落札率の状況について説明
  - ・ 指名停止の運用状況について説明
  - ・ 総合評価落札方式の実施状況について説明
- Q 災害の際には随意契約をしているが、業者をどのような基準で選定しているのか。また、今回の災害で地域防災力維持型は機能しているか。
- A 建設業協会と災害協定を結んでおり、地区ごとに業者の選定をお願いしている。地域防災力維持型が機能しているのだが、土木工事については金額の低い工事については、地元業者を優先的に発注している。幅広く地元の業者に行き渡るよう発注している。
- A 応急復旧は随意契約で行い、本復旧は下期から始まっている。地域防災力維持型を令和3年度に3,000万円から2,000万円に引き下げたことにより、事務手続きの短縮に役立っており、発注機関は地域防災力維持型を効果的に活用している。
- Q 受注者側は通常業務を行っているなかに災害復旧業務が入ってくるが、何か配慮しているのか。
- A 災害復旧が一番だと考えている。そこを踏まえ、発注機関や業界に文書を発出し、災害復旧を優先的に行ってもらい、それによって生じる負担については、発注機関と受注者間で協議して工期を延長するなど融通をきかせるようにしている。
- (2)-2 抽出事案審議
- ア 抽出事案1
- Q 1者しか応札がなかった原因はどう考えているか。
- A 工事の施工条件や手持ち工事、技術者の負担などの要因で1者応札になったと考えている。
- イ 抽出事案2

Q 優良工事の加点申請は、業者が申請すればもらえるのか、自動的に加点されるのか。

A 業者がどの工事で申請するか選択できる。優良工事の表彰を受けた場合、加点申請する権利を得られ、2年間有効で年1回申請可能。優良工事表彰は良い工事をしようという質の向上にもつながる。

#### ウ 抽出事案3

Q (最低制限価格を下回ったことでの) 失格者が多い原因はどこにあるのか。

A 大型の標識を一度に発注する案件はなかなかなく、またこちらの橋に関わりたいという積極的な思いが多く業者にあったのではないかと思う。

Q 最低制限価格は見直さないのか。

A 国のモデルを参考に改正しており、今年度7月に一般管理費を見直している。

#### エ 抽出事案4

Q 信号機はまとめて発注するとよい数量はあるのか。

A 年間100基程度の改良で、地域でかためて発注することとしている。(発注数は地域による。)

#### オ 抽出事案5

Q 応札業者の入札した金額についての見解は。

A 最低制限価格を下回った業者は工事を取ろうという意欲が強かったのではないかと思う。少し高めの価格で入札してきた嶺南の業者は工事場所から遠い分を見積もったのではないかと思う。

#### (2)-3 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が2件あったことを報告